

令和7年度 今福まちづくりセンターの主な取組

事業名

「今福こども広場」夏休み・冬休み学習会

P

●事業実施に至った背景、目的

小中学校区が広範囲のため、長期休暇中、子どもが交流する機会がほとんどない。また、学習を支える塾等が近隣にない。子ども達が主体的に活動する居場所づくりとして、学習の場を提供し、子どもが必要とする支援を提供できるように、大学生や地域住民による支援体制を整える。子どもの学力向上、多世代交流の場を目指す。今年3年目を迎え、事業の認知度が高まり、必要とされる子どもや保護者からの好反響をいただいている。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打合せ等)

年度始め…島根県立大学ゼミ生との交流会で、主旨説明と協力依頼。地域住民数名へも依頼。長期休暇までに…実施計画立案、協力者と打ち合わせ、地域の小中学生家庭へ広報

D

●事業の概要



C

●事業実施後の振り返り

夏休み学習会…10日間、参加した子ども28人
支援員(大学生)延べ14人
冬休み学習会…4日間、参加した子ども23人
支援員(地域住民)延べ4人
自主学習形態とし、その日の目標やメニューを自分で考え、自主的・意欲的に学習するスタイルを続けてきた。静かな環境で切磋琢磨しながら黙々と学習に励む雰囲気と支援員の巧みなサポートが意欲向上につながっている。

A

●今後の方向性

実施後に事業の振り返りをして、見直しを翌年度の事業に活かしながら継続してきた。地域の子育て世代に寄り添う内容にしていきたい。また、参加人数の多少にかかわらず、必要とする人に安心な居場所として提供できるように準備、計画を進めたい。この事業をきっかけにして、子育て家庭や地域住民、学校、県立大学生等、子どもたちを共に育む関係性の構築を目指したい。

